

6. その他河川整備を行うために必要な事項

本計画は、千代川水系における大臣管理区間を対象とするものですが、河川の成り立ちや、その役割・特性を考慮し、流域一体となった河川管理への取組が重要であると考えます。

このため、河川管理者をはじめ、地域住民や関係自治体、関係機関・団体等と、より一層の連携強化に努め、相互の情報共有を図ります。

また、今後の少子高齢化社会や社会資本ストック増大による維持管理費の増化等を見据え、それぞれの地域特性や今後の社会情勢の変化等を踏まえ、「自助・共助・公助」の精神のもと、地域との適切な役割分担により、千代川水系の総合的な河川整備・管理に努めます。

6.1 連携と協働

千代川がより多くの人々に親しめるよう、地域と連携・協働し川づくりを行います。

このため、河川管理者、関係機関、NPO 団体、地域住民等が、それぞれの役割を十分理解しつつ、互いに連携し合い、川づくりを進めていくことが必要です。

今後とも地域への広報活動に努めるほか、清掃活動、河川サポーター等への住民参加を通じて、地域の要望や意見を踏まえながら河川の管理に取り組めます。

6.2 「殿ダム水源地域ビジョン」の推進

殿ダムでは、地域住民、鳥取県、鳥取市、河川管理者等が協働し、殿ダムを活用した地域づくりを目指す行動計画として「殿ダム水源地域ビジョン」を策定しています。地域社会の活性化の一助として、殿ダムフェスティバル等、周辺地域の交流を促す施策の推進を図ります。

6.3 兼用道路及び河川に隣接する道路等との調整

堤防の上面に設けられた兼用道路及び河川に隣接する道路については、道路管理者が整備を実施しますが、河川敷地利用の快適性や安全性の向上等が図られるよう、河川利用等に関連する道路の整備が行われる際には、河川空間の特性に配慮した整備が行われるよう調整を図ります。

6.4 情報の共有化

河川の管理において連携と協働を実現するためには、治水・利水・環境に関わる情報を地域と共有化することが重要です。

そのため、ウェブサイトをはじめとするインターネット環境やケーブルテレビ等を活用して、千代川の河川整備状況、水文水質情報及び自然環

6. その他河川整備を行うために必要な事項

境の現状等に関する情報を広く共有するとともに、意見交換の場を設ける等関係機関や地域住民等との双方向コミュニケーションを推進します。

そのほかにも、大規模な自然災害が発生した際には、関係自治体へ整備局職員を派遣し、災害に関する情報、資料の収集や提供等の支援を行います。

6.5 社会環境の変化への対応

千代川の河川空間は地域の重要な社会基盤の一つとして、多様な機能が求められています。

本計画では、地域計画等との連携を図りつつ、施設整備等のハード対策に加え、千代川水系をとりまく社会環境の変化に伴い生じる課題や地域住民のニーズにも適切に対応できるよう、地域と連携した組織づくり等のソフト対策に努めるとともに、本計画自体も社会環境の変化に対して順応的な対応を図ることができるよう柔軟に運用します。